

一般社団法人札幌空調衛生工事業協会

令和5年度 会員・賛助会員親睦交流会

日時 令和5年10月18日（水）

場所 京王プラザホテル 3階 雅の間

札幌市中央区北5条西7丁目2番地1

TEL 011-271-1101

式次第

- | | | |
|---------------|---|-------|
| 受付 | | 17:30 |
| 1. 開会 | 総合司会 総務委員会 担当理事 出村 知佳子 | 18:00 |
| 2. 会長挨拶 | 一般社団法人 札幌空調衛生工事業協会
会長 池田 薫 | 18:01 |
| 3. 【第1部】 | セミナー
『リーダーとして大切にしていること』
講師 大澤 ちほ 様
(元アイスホッケー女子日本代表キャプテン) | 18:05 |
| 4. 休憩 | | 18:55 |
| 5. 【第2部】 | 親睦交流会 | |
| ◇ 乾杯 | 一般社団法人 札幌空調衛生工事業協会
副会長 鈴木 利晴 | 19:00 |
| |《 会食 》..... | |
| ◇ 賛助会員アピールタイム | コーナー司会 総務委員 (川村宏幸、五味渕知己、貝塚朋二) | 19:30 |
| 6. 中締め挨拶 | 一般社団法人 札幌空調衛生工事業協会
副会長 里中 雅幸 | 20:30 |
| 7. 閉会 | 総務委員会 担当理事 出村 知佳子 | 20:35 |

令和5年度 会員・賛助会員親睦交流会 出席者名簿

< 正会員出席者 >

社名	出席者役職	出席者氏名
池田煖房工業(株)	代表取締役社長	池田 薫
〃	常務取締役	小山内 淳
協立設備(株)	取締役営業部長	大竹 直美
恒完工業(株)	常務執行役員	高橋 茂樹
(株)工成舎	営業部部長	安藤 正勝
(株)興北煖房工業所	代表取締役社長	里中 雅幸
札幌交通機械(株)	機械事業本部企画営業部 営業課 課長	大澤 忠正
清和設備エンジニアリング(株)	代表取締役	田宮 雅昭
相互設備工業(株)	代表取締役	菊地 由晴
立川工業(株)	代表取締役	福澤 昇
(株)ダンテック	代表取締役	出村 知佳子
〃	取締役営業管理部長	川村 宏幸
(株)日新工業	代表取締役社長	渡部 正益
藤井設備(株)	代表取締役	永山 勝繁
(株)ふじ研究所	代表取締役	弘田 安

社名	出席者役職	出席者氏名
北海道三建エンジニアリング(株)	代表取締役社長	菊地 弘太郎
(株)朝日工業社北海道支店	上席執行役員支店長	鈴木 利晴
〃	営業部 営業課長	五味 潤 知巳
五建工業(株)札幌支店		天野 将彦
三機工業(株)北海道支店	執行役員支店長	山崎 泰弘
〃	営業部長	谷川 一郎
新菱冷熱工業(株)北海道支社	北海道支社長	堀江 公司
〃	営業部長	谷澤 英樹
(株)太平エンジニアリング 北海道支店	副支店長	草刈 稔
高砂熱学工業(株)札幌支店	営業部長	貝塚 朋二
(株)西原衛生工業所札幌支店	営業部担当課長	小野寺 正典
札幌空衛事務局	専務理事	西田 正司
来賓		
講師		大澤 ちほ
講師スタッフ		根本 あゆみ

< 賛助会員出席者 >

社名	出席者役職	出席者氏名
旭イノベックス(株)	営業部課長代理	堀江 輝政
エスケーリース(株)	営業課長	大塚 貢也
(株)オーテック管工機材事業部 札幌支店	支店長	猪熊 哲
(株)古島北海道支店	課長代理	大関 恒史
(株)札幌管材公社	営業部長	宮本 和昌
札幌日信電子(株)	住環境部長	三浦 悟
新晃工業(株)札幌営業所	所長	神田 幸多朗
TOTO(株)北海道支社	課長	松田 明久
〃	係長	西口 純平
ナイガイ(株)北海道支店	上席執行役員	大石 俊昌
〃	上席執行役員	田中 博晃
(株)日星電機	部長	及川 一伸
〃	課長	羽田 正直
フシマン商事(株)	代表取締役社長	下戸 将弘
〃	常務取締役 営業本部長	三好 浩紀

社名	出席者役職	出席者氏名
北栄冷機工業(株)	常務取締役	沼澤 敏晴
〃	営業係長	福地 拓
北海道オリンピック(株)	営業部次長	荒井 俊洋
北海道消防機材(株)	常務取締役	西能 昭浩
丸茶(株)札幌支店	取締役支店長	長田 直人
〃	営業部長	加賀見 浩計
三菱電機住環境システムズ(株)	部長	山本 吉照
〃	主幹	伊藤 充
モリミツ(株)	営業部部長	古東 慶秀
〃	営業部 係長	田中 康雅
(株)ヤマケンマシナリー 札幌営業所	副所長	橋本 克久
〃		井上 峻
山田機械工業(株)札幌支店		高橋 章太郎
(株)LIXIL北海道支社	営業主任	村田 真克
リンナイ(株)北海道支店	札幌統括営業所 所長	齋藤 陽



元アイスホッケー女子 日本代表キャプテン

大澤ちほ

1992年2月10日生まれ

北海道苫小牧市出身 苫小牧東高校→苫小牧駒澤大学

ポジション→FW（ライトウィング）

【プロフィール】

北海道苫小牧市出身。6歳から元日本代表選手の父の影響でアイスホッケーキャリアをスタート。ソチ、平昌、北京と3大会連続で「スマイルジャパン」のキャプテンとして代表チームを牽引した。海外チームでの経験も豊富で、アメリカやスウェーデンなどでもプレイ。平昌五輪後の2018年からはスウェーデンリーグに参戦。「世界で一番強いチーム」との呼び声も高いスウェーデンの強豪ルレオに所属し、世界トップクラスの選手達と共に3シーズンプレイした。2022年に開催された北京五輪では、Bグループ首位突破の原動力として活躍の記憶も新しい。

2022年8月に2021-2022シーズンをもって現役選手を引退することを発表。『海外ではウィンタースポーツの花形競技であるアイスホッケーが、日本でもメジャースポーツの一つになって欲しい』という強い思いから、引退後はアイスホッケーの普及活動に専念。「大澤ちほ スマイルプロジェクト」を立ち上げ、スケートやアイスホッケースクールの開催、講演会やイベントへの出演、試合中継の解説など各メディアへの出演を通して、アイスホッケーの認知度を上げるための様々な活動を行なっている。2022年より株式会社MONSTARdesignに所属。

【主な経歴】

- ・U18世界選手権2回出場
- ・世界選手権8回出場
- ・冬季オリンピック3回出場（2014年ソチ、2018年平昌、2022年北京）

【所属チーム】

トヨタシグナス→岩倉ペリグリン→三星ダイターペリグリン→ Victory Honda (USA)
→道路建設ペリグリン→Luleå (Sweden)



Md MONSTAR design.

講演録

10月18日、札幌空調衛生工事業協会
会員・賛助会員親睦交流会から女子アイスホッケー元日本代表キャプテン
大澤 ちほさん

リーダーの責務は環境づくり

女子アイスホッケー日本代表は3大会連続で五輪に出場しています。正式種目になった長野大会は6チーム中6位、ソチ大会は8チーム中7位、平昌大会は8チーム中6位、北京大会は10チーム中6位という結果です。長野と北京は同じ6位ですが、レベルが上がったと感じます。参加資格があるのは44カ国。世界ランキング1-6位と開催国は自動的に出場し、残りは予選で出場権を争います。日本代表は長野大会に開催国枠で出

法を見ると確実にレベルアップしていると分かります。国内外チームでの活躍ぶりから選ばれた選手で代表選考合宿をして代表チームができます。こうしたチームでキャプテンとしてまとめていく中、強くなるために障害となるものが二つありました。一つは即席チームであること。普段は所属チームでプレーするので、代表チームには出場する大会が始まる約1週間前に集められて勝たなければいけません。もう一つは

そこで私がリーダーとして実践したことが三つあります。一つ目はメンバーを知ること。各選手がチームにとってどんな存在か、どんな影響をもたらすのか知るため、よくコミュニケーションを取ったり観察したりしました。すると、この人にはこう伝えようというコミュニケーションの取り方が分かってきました。知れば知るほど性格が見え、自然とみんなのことが好きになります。相手に嫌な面があるのは自分の固定観念に反

て、ソチ、平昌では最終予選、北京では世界ランキングでそれぞれ出場権を獲得しました。出場の方主力選手の集まりであること。代表選手は所属チームのメインメンバーなので常に試合に出ています。でも代表チームでは試合に出られない選手もいて、そこでいかにチームのために戦える集団になるかが重要です。二つ目の点のほうは難しいと感じます。

二つ目は伝えるためのベースをつくること。リーダーとして認めてもう環境づくりです。選手として結果を残すよりチームのためにベストを尽くすかをチームメイトは見ると思うので、人に言う前にまずは自分がかやると心掛けまし

た。リンクの片付けも率先してやり、キャプテンがやっているからやろうと思ってくれて、このチームではマッチしたと感じます。同時に距離感をつくることも意識しました。距離感が縮まりすぎると言いたいことが伝わらないことがあり、ぴりつとさせたいときに伝える距離感を保っておきたかったです。仲良くなりつつも、距離感で一線を引くことは意識しました。三つ目は存在意義を高めること。チーム全体で問題点を見つけて解決するために必要な人材に頼ることを意識しました。それにはメンバーを知ることが必要で、この案件はこの人に頼もうというようにそれぞれのアイデアを取り入れて活動しました。誰かが作ったチームと自分で作ったチームとは働く人の責任感が違います。役割を与えられると全員が課題を考えられるチームになり、強くなると感じます。

おさわ・ちほ 1992年2月10日生まれ、苫小牧市出身。日本代表選手だった父の影響でアイスホッケーを始め、苫小牧東高、苫小牧駒澤大を経て国内外リーグでプレーし、キャプテンとして冬季五輪3大会に出場した。2021-22年シーズン末で引退し、現在は競技の普及活動に取り組む。

リーダーであるために実践したこともあります。それは決断に責任を持つこと。そうでないと何のためのキャプテンなのか意味がありません。みんなで作り上げるチームでも最後の決断は自分自身にして、それに責任を持ちます。

